

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）	
											総合判定	総合的な分析
1	児童遊園管理費	児童等が町内5箇所にある児童遊園で遊ぶ際、安心安全に利用できるように専門業者に遊具の点検業務を委託する。	町内5箇所にある児童遊園に設置している遊具の点検の委託料の予算を確保しているものである。	活動	① 遊具点検業務委託先	箇所	1	1	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 点検の結果修繕が必要となった遊具については適切に対応した。また、地域において必要ない遊具については撤去を行った。 【課題】 ・雪害により支柱が曲がったり、経年劣化により塗装が剥けている遊具が多くなってきている。 【次年度に向けた改善点】 ・遊具の適正な管理を文書により依頼する。
				活動	②							
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
				対象	②							
				財源	国	千円						
					県	千円						
起債	千円											
その他	千円											
一般	千円	159	339									
事業費合計				千円	159		339					
2	児童輸送業務委託事業	旧湯田町の新田郷・左草地区にあったへき地保育所の閉所に伴い、川尻・湯本保育園へ入所している児童の輸送を業者へ委託する。	旧湯田町におけるへき地保育所の閉所及び休所に伴い、当該へき地保育所があった地域からの要望により、最寄りの保育園までの送迎を町がタクシー会社に委託し実施することを約束していた経緯があることから、同地区から保育園へ入所する児童の利用見込みで委託料の予算を確保しているものである。	活動	① 児童輸送委託先	箇所	1	0	－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止	【効果】 ・対象児童は0世帯0名 【課題】 ・対象児童数の減少。 【次年度に向けた改善点】 -
				活動	②							
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
				対象	②							
				財源	国	千円	443	0				
					県	千円						
起債	千円											
その他	千円											
一般	千円											
事業費合計				千円	443		0					
3	にしわが愛児会補助事業	湯田地区の保育所行政を担っている「にしわが愛児会」の本部会計と併せて入所児童の減少により安定した保育の場を確保できない保育園に対し運営費を助成する。	湯田地区において保育を担っている「にしわが愛児会」が経営する施設（湯本保育園及び川尻保育園）の円滑な運営を図るため本部会計に対し補助金の交付を行う。	活動	① 補助金の交付	千円	4,646	1,804	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・円滑な運営に寄与している。 【課題】 - 【次年度に向けた改善点】 ・現状のままで問題ないものとする。
				活動	②							
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
				対象	②							
				財源	国	千円						
					県	千円						
起債	千円											
その他	千円											
一般	千円	4,646	1,804									
事業費合計				千円	4,646		1,804					

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度			
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）	評価（事後評価）			
							総合判定		総合的な分析		総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等			
4	保育所運営費	乳幼児の保護者が働いていたり、病気にかかっているため日中乳幼児を保育できない場合、保護者に代わって乳幼児を保育する。	乳幼児の保護者が働いていたり、病気にかかっているため日中乳幼児を保育できない場合、保護者に代わって乳幼児を保育するため町内3カ所に保育所を設置し、運営に必要な予算を確保しているものである。	活動	① 人件費（臨時含む）	千円	98,685	102,312	99,732	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	3：縮小して継続	【効果】 主な修繕 ・川舟保育所 給湯器修繕 125,615 ・せんだん保育所 ﾌﾞﾗｯｸ屋根塗装 363,000 ・新町保育所 屋外遊具修繕 466,000 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事業の発生に対処している状況である。今後、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的な改修等を行い、適正管理に努める。	2：見直して継続	【効果】 主な修繕 ・川舟保育所 クロス張替え 85,140 ・せんだん保育所 テレビアンテナ改修 81,151 ・新町保育所 雪囲い土台修繕 116,640 【課題】 ・川舟保育所玄関及び給食室の雨漏り 【今後の方針・方向性】 ・長期的な修繕計画及び保育施設の在り方の検討
				成果	② 各種委託料	千円	850	1,273	1,159						
				成果	③ 各種修繕費	千円	1,117	439	374						
				対象	①										
				対象	②										
				財源	国	千円									
				財源	県	千円									
財源	起債	千円													
財源	その他	千円													
財源	一般	千円	113,622		11,489										
事業費合計	千円	113,622		11,489											
5	西和賀高校魅力化支援事業	西和賀高等学校魅力化支援基金を財源とし、西和賀高等学校に入学する生徒が、意欲的に学業やクラブ活動等に励むことのできる環境を整備するとともに、地域の将来を担う人材育成及び町の活性化に資するための事業の支援を行う。	・西和賀高校生の希望する進路達成に向けて、小論文講座や模試、各種検定に係る経費を助成する。 ・通学費用の負担軽減を目的とした、兄弟姉妹世帯の二人目以降の通学費の無料化支援 ・給食（副食）提供事業「西高レストラン」の利用費支援 ・海外派遣（オーストラリア）費用の一部支援 ・遠方からの生徒が安心して西和賀高校に通うことができるよう、下宿事業の展開	活動	① 模擬、資格試験助成	回	1	1	1	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・魅力化事業の各種取組により、希望進路の達成や、就職率100%となった。 ・西和賀高校への応募者も定員を上回る状況であった。 【課題】 ・下宿事業や海外派遣事業等の費用等、費用面の負担が大きく、固定化しつつあること ・私立高校の無償化の開始により、西和賀高校への応募者が減ることが予測されることから、さらなる魅力の向上に向けた支援のあり方を模索する。 【次年度に向けた改善点】 ・1クラス減となったことから、今後も教員が減少していくため、魅力化事業及び公営塾事業でフォローアップを行う	2：見直して継続	【効果】 ・魅力化事業の各種取組により、希望進路の達成や、就職率100%となった。 【課題】 ・下宿事業や海外派遣事業等の費用等、費用面の負担が大きく、固定化しつつあること ・私立高校の無償化の開始により、西和賀高校への応募者が減ることが予測されることから、さらなる魅力の向上に向けた支援のあり方を模索する。
				活動	② 兄弟姉妹世帯通学費助成	人	7		7						
				活動	③ 昼食副食費補助（レストラン）	回	7,431	5,000	10,305						
				活動	④ オーストラリア海外留学事業助成	回	1	1	1						
				成果	① 西和賀高校への次年度入学者数	人	35	40	30						
				対象	① 西和賀高校生及び保護者世帯										
				対象	②										
財源	国	千円													
財源	県	千円													
財源	起債	千円													
財源	その他	千円	8,400		8,100										
財源	一般	千円	589		635										
事業費合計	千円	8,989		8,735											
6	西和賀高校スクールバス運行事業	西和賀高校生の通学にあたり、現行の県交通ダイヤでは、生徒の通学に支障が出ることから、スクールバス運行を行うことで、通学環境を改善することを目的とする。	岩手県交通を利用して通学する西高生の定期代の一部補助を行い、通学に係る負担を軽減する。	活動	① 通学費補助	回	1	1	1	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・西和賀高校に通う世帯の通学費支援を行うことで、他地域の高校と比較した際の不利な面をカバーし、西和賀高校生の確保につなげた。 【課題】 ・特になし 【次年度に向けた改善点】 ・現状のまま問題ないものとする	1：現状のまま継続	【効果】 ・西和賀高校に通う世帯の通学費支援を行うことで、他地域の高校と比較した際の不利な面をカバーし、西和賀高校生の確保につなげた。 【課題】 ・特になし 【今後の方針・方向性】 ・進路選択先として西和賀高校を選択してもらうために、保護者世帯の通学費用負担を軽減することも重要な施策の1つであることから、継続して実施する必要がある。
				活動	②										
				活動	③										
				成果	① 西和賀高校への次年度入学者数	人	35	40	30						
				対象	①										
				対象	②										
				財源	国	千円									
財源	県	千円													
財源	起債	千円													
財源	その他	千円			3,800										
財源	一般	千円	4,971		1,082										
事業費合計	千円	4,971		4,882											

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2: 見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3: 縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4: 統廃合
— 取り組む必要が無かった	— 効果は不明	5: 廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度	
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)	評価 (事後評価)	
									総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等	
7	公営塾運営事業	西和賀町まちなか交流施設のセミナールームを活用し、西和賀町「公営塾」の事業展開を図ります。公営塾では、主に次の3つを柱として活動を行います。 ○英語教育の拠点として、英会話を中心とした町民及び町内小学生・中学生・高校生の学習支援と交流促進を行います。 ○西和賀高校の学習支援として、予備校講師を招聘し、進学支援等を行います。 ○郷土を愛する地域人材の育成のために、郷土の偉人を題材とした英語劇や地域理解学習を行います。	【英語教育・交流促進】 ・英会話講座 ・教養講座 (町民大学講座) ・地域交流イベント等 【西和賀高校学習支援】 ・予備校学習会 (15回) ・公務員予備校学習会 (10回) ・小論文講座 (5回) ・学習合宿 ・模試等 【郷土を愛する地域人材育成】 ・いのち輝く百年創造塾 ・西和賀高校の総合的な学習での活用 ・英語劇等	活動	① 英会話教室の実施	回	53	60	75	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2: 見直して継続	【効果】 ・交流館を使った取組により、町民の認知度が高まり活用されるようになった 【課題】 ・英会話教室参加者のゴール設定が曖昧となったこと ・各教養講座への参加者の確保 【次年度に向けた改善点】 ・事業実施前の準備や打合せ等を細やかに行う
				成果	① 英会話教室参加者 (交流館開催分のみ)	人	970.0	500.0	256				
				成果	② 教養講座参加者	人	457.0	—	—				
				成果	③ 進学等進路目標達成者数	人	100.0	100	100				
				対象	① ①、②全町民	人							
				対象	② ③西高生	人							
				財源	国	千円							
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円			6,000								
財源	一般	千円	8,398		692								
事業費合計	千円	8,398			6,692								
8	地域おこし協力隊招聘事業	平成30年度に開設したまちなか交流館を活用した英会話教室及び町民教養講座に係る業務と西和賀高校の魅力化に向けた取組を進めるため、地域おこし協力隊を招聘するものである。	まちなか交流館を活用した取組 ①英会話教室 (週4日) ②町民教養講座 (10回) 西和賀高校の魅力化支援業務 ①情報誌「雪華」の発行 (年3回) ②SNSを活用した情報発信 (随時)	活動	① 公営塾事業の運営	ヶ月	12	12	12	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1: 現状のまま継続	【効果】 ・交流館を使った取組により、町民の認知度が高まり活用されるようになった ・西和賀高校の魅力をアピールすることで応募者の増につながった 【課題】 ・町が担当業務を任命しながら、その業務の遂行に必要な環境が整えられていない (ネット環境等) 【次年度に向けた改善点】 ・情報発信環境の改善
				活動	② 西高魅力化に係る情報発信	ヶ月	12	12	12				
				活動	③								
				成果	① 交流館の利用促進	人	970.0	500.0	256.0				
				成果	② 西和賀高校への入学生の確保	人	35	40	30				
				成果	③								
				対象	① 一般町民								
対象	② 西高生及び中学生とその保護者												
財源	国	千円											
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円											
財源	一般	千円	2,478		3,636								
事業費合計	千円	2,478			3,636								
9	教員住宅維持管理費	教員住宅の適正な維持管理を行い、教職員が安全に施設を利用できる状態を維持する。	教員住宅 ・湯田中学校教員住宅 2戸 ・湯田小教員住宅 2戸 ・川尻1区教員住宅 2戸 ・新町教員住宅 2戸 ・泉沢教員住宅 3戸	活動	① 教員住宅	戸			11	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続	主な修繕 ・新町教員住宅ボイラー修繕 190,080円 ・川尻教員住宅ボイラー及び便器修繕 184,896円 ・泉沢教員住宅 ハウスクリーニング及びボイラー交換 350,190円 現状では、修繕事案の発生に対し対応している状況であり、計画的に改修等を行い、適正な維持管理に努める。
				活動	②								
				活動	③								
				成果	①								
				成果	②								
				成果	③								
				対象	① 教員								
対象	②												
財源	国	千円											
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円											
財源	一般	千円			1,102								
事業費合計	千円				1,102								

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度		
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）			
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等
10	小学校施設維持管理費	小学校施設の適正な維持管理を行い、児童、職員及び利用者が安全に施設を利用できる状態を維持する。	町内小学校施設の維持管理 湯田小学校 校舎：S61年 2階 RC造 1,883㎡ 体育館：S61年 2階 RC造 775㎡ 沢内小学校 校舎：S47年 2階 RC造 1,691㎡ 体育館：S63年 1階 鉄骨造 825㎡ プール：S52年 RC造 514㎡ 川尻小学校 校舎：S46年 3階 RC造 2,256㎡ 体育館：H19年 2階 RC造 763㎡ 越中畑小学校 校舎：S55年 2階 RC造 898㎡ 体育館：S55年 2階 鉄骨造 488㎡ 左草小学校 校舎：S57年 2階 RC造 905㎡ 体育館：S57年 2階 鉄骨造 476㎡ 下前分校 校舎：H3年 2階 木造 563㎡ 体育館：H3年 1階 鉄骨造 500㎡ 沢内第一小学校 校舎：S58年 3階 RC造 2,361㎡ 体育館：S59年 1階 RC造 800㎡ 貝沢小学校 校舎：S57年 2階 RC造 934㎡ 体育館：S58年 2階 RC造 708㎡	活動	① 各種業務委託料	千円	2,456	14,175	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	2：見直して継続	主な修繕 ・湯田小職員トイレ修繕 ・湯田小漏水修繕 ・沢内小トイレ凍結防止 暖房機修繕 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事業の発生に対応している状況である。今後、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的な改修等を行い、適正管理に努める。	2：見直して継続	【効果】 ・こまめに学校訪問を行い、早期の修繕に対応できた。 ・個別施設計画策定業務委託を実施し、小学校の個別施設計画を策定することができた。 【課題】 ・修繕箇所は未だに多く残っているほか、施設の改修も課題となっている。 【今後の方針・方向性】 ・個別施設計画に基づく計画的な修繕及び改修を進める。
				成果	② 各種修繕	千円	2,091	5,084						
				成果	③ 施設改修等工事	千円	0	3,240						
				対象	①									
				対象	②									
				対象	③									
				財源	国	千円								
				財源	県	千円								
				財源	起債	千円								
				財源	その他	千円		3,200						
財源	一般	千円	4,547	19,299										
	事業費合計	千円	4,547	22,499										
11	小学校通学対策総務費	小学生の安全な通学のために遠距離児童用にスクールバスを運行するとともに、柳沢地区児童についてはタクシーへ輸送業務を委託する。	【湯田小学校】 耳取地区、左草・下前地区、新田郷地区、湯川・川尻地区（スクール4台） 柳沢地区（タクシー委託） 【沢内小学校】 川舟コース、下の沢コース、鍵飯コース、貝沢コース（スクール4台）	活動	① スクールバス運行台数	台	7	8	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	2：見直して継続	【効果】 ・遠距離通学の小学生の安全な通学手段を確保した。 【課題】 ・対象児童の減少等によりタクシー委託からスクールバスへの切り替え等を検討する必要あり 【次年度に向けた改善点】 ・左草及び下前はタクシー委託からスクールバス対応に切り替える。 ・柳沢地区は登校をタクシー委託とし、下校をスクールバス対応に切り替える。	1：現状のまま継続	【効果】 ・遠距離通学の小学生の安全な通学手段を確保した。 【課題】 ・順調に対応できている。 【今後の方針・方向性】 ・現状どおり継続する。
				活動	② スクールタクシー委託	件	2	1						
				活動	③									
				成果	①									
				成果	②									
				成果	③									
				対象	① スクールバス乗車児童数	人	131	126						
				対象	② スクールタクシー乗車児童数	人	12.0	3.0						
				対象	③									
				財源	国	千円								
財源	県	千円												
財源	起債	千円												
財源	その他	千円												
財源	一般	千円	11,849	10,868										
	事業費合計	千円	11,849	10,868										
12	中学校施設維持管理費	中学校施設の適正な維持管理を行い、生徒、職員及び利用者が安全に施設を利用できる状態を維持する。	町内中学校施設の維持管理 湯田中学校 校舎：H5年 3階 RC造 2,869㎡ 体育館：H6年 1階 鉄骨造 854㎡ 沢内中学校 校舎①：S48年 3階 RC造 1,002㎡ 校舎②：S49年 3階 RC造 1,744㎡ 校舎③：S49年 3階 鉄骨造 416㎡ 体育館①：S49年 2階 鉄骨造 580㎡ 体育館②：S62年 2階 RC造 453㎡	活動	① 各種業務委託料	千円	2,301	9,164	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	2：見直して継続	主な修繕 ・沢内中屋外柱及び内壁修繕 ・沢内中消火栓用ポンプ修繕 ・沢内中駐車場敷地修繕 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事業の発生に対応している状況である。今後、学校施設の個別施設計画を策定し、計画的な改修等を行い、適正管理に努める。	2：見直して継続	【効果】 ・こまめに学校訪問を行い、早期の修繕に対応できた。 ・個別施設計画策定業務委託を実施し、中学校の個別施設計画を策定することができた。 【課題】 ・修繕箇所は未だに多く残っているほか、施設の改修も課題となっている。 【今後の方針・方向性】 ・個別施設計画に基づく計画的な修繕及び改修を進める。
				活動	② 各種修繕	千円	3,583	5,180						
				活動	③ 施設改修等工事	千円	0	1,089						
				成果	①									
				成果	②									
				成果	③									
				対象	①									
				対象	②									
				対象	③									
				財源	国	千円								
財源	県	千円												
財源	起債	千円												
財源	その他	千円												
財源	一般	千円	5,884	15,433										
	事業費合計	千円	5,884	15,433										

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度			
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）				
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等	
13	中学校通学対策総務費	中学校遠距離通学生徒のためにスクールバスを運行するとともに、湯田中学校の生徒については岩手県交通への輸送業務及びJR利用者へ通学費を助成する。	【湯田中学校】 耳取地区、左草・下前地区、新田郷地区、湯川地区（スクール4台） 湯田・湯本方面（県交通） 湯川地区（下校のみ湯けむりタクシー） 【沢内中学校】 川舟、下の沢、鍵飯、貝沢コース（スクール4台）	活動	① スクールバス運行台数	台	5	8	8	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・遠距離通学の中学生の通学手段を確保した。 【課題】 ・JR通学に関し、災害時に安全に下校させるため学校側から、スクールバスでの対応の要望があった。 ・年度途中で県交通の湯川線が廃止となり、湯けむりタクシー利用に切り替えた。 【次年度に向けた改善点】 ・JR利用者については、スクールバス対応に切り替える。	1：現状のまま継続	【効果】 ・遠距離通学の中学生の通学手段を確保した。 【課題】 ・順調に対応できている。 【今後の方針・方向性】 ・現状通り継続する。
				活動	② 湯本地区生徒輸送業務委託	件	1	1	1						
				活動	③ 湯川地区生徒輸送業務委託（下校のみ）	件	1	1	1						
				成果	①										
				成果	②										
				成果	③										
				対象	① スクールバス乗車生徒数	人	44	60	60						
				対象	② 県交通バス、JR及び湯けむりタクシー利用生徒数	人	20.0	17.0	17.0						
				財源	国	千円									
					県	千円									
起債	千円														
その他	千円														
一般	千円	3,495			3,330										
事業費合計				千円	3,495		3,330								
14	小学校給食運営費	湯田小学校の学校給食の運営	湯田小学校の学校給食の運営に係る給食用の食器や調理用器具が経年劣化による破損が多いため、異物混入等を防ぎ安心安全な給食の提供実施を図る。	活動	① 人件費（臨時）	千円	3,165	3,438	3,120	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	主な修繕 ・給湯器修理 ・食器消毒保管庫修繕 ・蛇口支持固定修理2 主な備品 ・ディスプレイ ・デジタル温度計 ・まな板 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事業の発生に対し対応している状況である。今後、給食センターが建設されることから必要な修繕であるか見極めた上で対応していく。	2：見直して継続	【効果】 主な修繕 ・給水管保温修繕 ・給湯配管漏水修繕 ・配管修繕 主な備品 ・蒸ザル ・ハイテクパテラ ・デジタル秤 【課題】 ・突発的な修繕 【今後の方針・方向性】 ・令和3年度9月総合給食センター（仮称）稼働予定
				活動	② 各種修繕費	千円	549	150	134						
				活動	③ 備品購入費	千円	42	103	81						
				成果	①										
				成果	②										
				成果	③										
				対象	①										
				対象	②										
				財源	国	千円									
					県	千円									
起債	千円														
その他	千円														
一般	千円	5,252			4,782										
事業費合計				千円	5,252		4,782								
15	中学校給食運営費	湯田中学校の学校給食の運営	湯田中学校の学校給食の運営に係る給食用の食器や調理用器具が経年劣化による破損が多いため、異物混入等を防ぎ安心安全な給食の提供実施を図る。	活動	① 人件費（臨時）	千円	3,128	3,336	2,726	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	主な修繕 ・冷蔵庫修繕 ・ガス回転釜修繕 ・オイルカップ修繕 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事業の発生に対し対応している状況である。今後、給食センターが建設されることから必要な修繕であるか見極めた上で対応していく。	2：見直して継続	【効果】 主な修繕 ・小荷物専用昇降機修繕 ・蛇口部品交換 ・洗米機バルブ交換 主な備品 ・中心温度計 【課題】 ・突発的な修繕 【今後の方針・方向性】 ・令和3年度9月総合給食センター（仮称）稼働予定
				活動	② 各種修繕費	千円	289	186	185						
				活動	③ 備品購入費	千円	0	49	18						
				成果	①										
				成果	②										
				成果	③										
				対象	①										
				対象	②										
				財源	国	千円									
					県	千円									
起債	千円														
その他	千円														
一般	千円	4,786			4,767										
事業費合計				千円	4,786		4,767								

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度		
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）		評価（事後評価）	
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等
16	給食センター運営費	沢内学校給食共同調理場の学校給食の運営	沢内学校給食共同調理場（沢内小学校・沢内中学校）の学校給食の運営に係る給食用の食器や調理用器具が経年劣化による破損が多いため、異物混入等を防ぎ安心安全な給食の提供実施を図る。	活動	① 人件費（臨時）	千円	4,898	5,217	4,934	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 主な修繕 ・食品保管棚修繕 ・外壁修繕 ・手洗い器移設及び蛇口交換 主な備品 ・A3対応インクジェット複合機 ・二重保温食缶 【課題】 現状では各施設における長期的な改修計画等はなく、修繕事案の発生に対し対応している状況である。今後、給食センターが建設されることから必要な修繕であるか見極めた上で対応していく。	
					② 各種修繕費	千円	1,533	999	998					
					③ 備品購入費	千円	92	108	101					
				成果	①									
					②									
					③									
				対象	①									
	②													
財源	国	千円												
	県	千円												
	起債	千円												
	その他	千円												
	一般	千円	11,408		10,986									
	事業費合計	千円	11,408		10,986									
17	社会教育総務事務費	町の社会教育の振興を図るため、町長が認める社会教育団体等が行なう事業に要する経費を補助する。	西和賀町社会教育振興補助金交付要綱に基づく補助金の交付。 ・町きらめく女性連絡会 ・町芸術文化協会 ・町婦人連絡協議会 ・町PTA連合会	活動	① 女性体育祭・集いの開催	回	2	2	2	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・町内の女性の交流が図られた。 ・講演を通じ会員のスキルアップになった。 【課題】 ・参加者を増やす取組が必要。 【次年度に向けた改善点】 ・若年女性への周知方法を工夫する。	
					② 町P連研究大会の開催	回	1	1	1					
					③									
				成果	①									
					②									
					③									
				対象	① 女性団体	団体	5	5	5					
	② 町内小中学生の保護者	人												
財源	国	千円												
	県	千円												
	起債	千円												
	その他	千円												
	一般	千円	830		723									
	事業費合計	千円	830		723									
18	教育振興運動推進事業	本事業は、子どもの抱える課題を解決するため、5者（子ども自身、家庭、学校、地域、行政）がそれぞれの役割を果たしながらも相互に連携して取り組み、「未来を拓き、地域を愛する人を育てるまちづくり」に寄与することを目的とします。	湯田地区、沢内地区それぞれの教育振興会のもと、旧小学校区単位で実践班を組織し、活動している。 ○湯田地区教育振興会・川尻実践班、湯本実践班、新田郷実践班 ○沢内地区教育振興会・志賀来実践班、猿橋実践班、川舟実践班、貝沢共育連絡会 町として、各振興会での取り組みを支援するほか、全県共通課題への取り組み、各実践班の活動の支援を行います。	活動	① 教育振興運動推進協議会交流集会	回	1	1	1	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 ・子ども達の教育課題解決のため子ども・家庭・学校・地域・行政が相互に連携。 ・登下校時の見守り等の学校支援活動、また伝承活動の指導や子ども110番の家等の地域での活動による健全育成。 【課題】 ・実践班ごとの温度差 ・子供会行事色が強くなってきている傾向がある。 【次年度に向けた改善点】 ・実践組織における課題解決活動との住み分けを明確化させる。	
					② 学校支援活動									
					③ 地域活動									
				成果	①									
					②									
					③									
				対象	①									
	②													
財源	国	千円												
	県	千円												
	起債	千円												
	その他	千円												
	一般	千円	389		380									
	事業費合計	千円	389		380									

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度			
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）				
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等	
22	子育て教育支援事業	町内の乳幼児及びその保護者が気軽に集い、子育てに関する知識や情報、技術等を得る機会を提供する。	○30年度より社会福祉協議会主催の「子育てサロン」との協働実施。 ○読書推進事業と連携した読み聞かせ会の開催。	活動	① 子育て教室の実施	回	2	2	1	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・参加者同士での悩み相談や交流の場となった。 【課題】 ・参加者の固定化。 【次年度に向けた改善点】 ・参加者が興味を持つような教室を催す。	1：現状のまま継続	【効果】 ・講座、読み聞かせ会後に交流の場を設けたことで、交流がしやすくなった。 【課題】 ・参加者の減少。 【今後の方針・方向性】 ・親子での講座のほか、保護者がリラックスできる講座を催す。
				活動	② 読み聞かせ会の実施	回	4	4	3						
				成果	① 参加者数	人	20	20	13						
				成果	② 参加者数	人	28	20	16						
				成果	③										
				対象	① 未就園児とその保護者										
				対象	②										
				財源	国	千円									
				財源	県	千円									
				財源	起債	千円									
財源	その他	千円													
財源	一般	千円	33		20										
	事業費合計	千円	33		20										
23	ジュニアリーダー研修事業	町内小学生児童の交流を図り、高学年をジュニアリーダーとして育成を図る。	○青少年育成事業の実施 ○青少年問題協議会の開催	活動	① 青少年問題協議会	人	14	20	13	△ 目標達成率25%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	特に活動はなかった。	2：見直して継続	【効果】 ・委員同士での子どもたちのスマホ・SNS使用状況について情報共有を図れた。 【課題】 ・実効性の高い事業展開を図る必要がある。 【今後の方針・方向性】 ・学校教育と異なる体験学習や社会学習の場の提供に努める。
				活動	② ジュニアリーダー研修	回	0	4	0						
				成果	①										
				成果	②										
				成果	③										
				対象	① 青少年問題協議会委員	人	0	20	13						
				対象	②										
				財源	国	千円									
				財源	県	千円									
				財源	起債	千円									
財源	その他	千円													
財源	一般	千円	0		10										
	事業費合計	千円	0		10										
24	地区公民館維持管理費	地区公民館維持管理における経常経費	主な経費 ・館長報酬（6館） ・光熱水費、燃料費 ・修繕料 ・通信運搬費 ・建物共済 ・消防設備保守点検 ・耐震診断委託	活動	①					◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 ・耐震診断を行い、今後の維持管理の検討材料が整った 【課題】 ・施設の老朽化 ・公民館施設としての活用のあり方 【次年度に向けた改善点】 ・修繕希望個所の調査を実施し、地域要望の把握を行なった。	2：見直して継続	【効果】 ・ 【課題】 ・ 【今後の方針・方向性】 ・地区公民館・分館見直しについて検討委員会を設置し、修繕の方向性や地区集会場化へ移行検討を行う。
				活動	②										
				活動	③										
				成果	①										
				成果	②										
				成果	③										
				対象	①										
				対象	②										
				財源	国	千円									
				財源	県	千円									
財源	起債	千円													
財源	その他	千円													
財源	一般	千円	13,988		5,606										
	事業費合計	千円	13,988		5,606										

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1:現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2:見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3:縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4:統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5:廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度	
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)		
											総合判定	総合的な分析	総合判定
25	分館維持管理費	分館維持管理における経常経費	主な経費 ・館長報酬 (39館) ・光熱水費、燃料費 ・修繕料 ・通信運搬費 ・建物共済 ・消防設備保守点検 (3館)	活動	①				◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2:見直して継続	【効果】 ・施設修繕の要望に予算の範囲内で対応し、施設の維持に努めた。 【課題】 ・施設の老朽化 ・地域の人口減や高齢化による施設の維持管理が困難。 ・活用の実態は、地域の寄り合いの場となっていることから、実態に見合った施設管理が必要。 【次年度に向けた改善点】 ・修繕希望個所の調査を実施し、地域要望の把握を行なった。	
				成果	①								
				成果	②								
				成果	③								
				対象	①								
				対象	②								
				財源	国	千円							
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円											
財源	一般	千円	7,542	9,720									
事業費合計	千円	7,542		9,720									
26	図書館事務費	多様化する市民のニーズに沿った図書資料を提供し、的確なレファレンスサービスを行う。	○新刊図書の購入 ○図書館車みどり号の運行 (巡回図書) ○図書室の環境づくり	活動	① 新刊図書購入	冊	315	300	253	○ 目標達成率50%以上	◎ 十分な効果あり	1:現状のまま継続	【効果】 ・さまざま分野の図書を配架したことで幅広い年齢層の利用が増加。 【課題】 ・巡回図書の運行回数。 【次年度に向けた改善点】 ・図書館車による巡回図書の在り方について検討が必要。
				活動	② 貸出冊数 (図書室)	冊	1,513	1,500	1,389				
				活動	③								
				成果	① 新刊図書購入	冊	315	300	253				
				成果	② 貸出冊数 (図書室)	冊	1,513	1,500	1,389				
				成果	③								
				対象	① 町民及び図書室利用者	人	729	700	780				
対象	②												
財源	国	千円											
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円											
財源	一般	千円	786	833									
事業費合計	千円	786		833									
27	1714民俗資料館維持管理費	大台野遺跡の出土品を中心として、西和賀町に関連のある考古資料、文書資料、民俗資料の収集保存、展示を行っている。また、鉱山の町、温泉の町として栄えてきた本町を特色付ける資料も展示している。	4月から11月までの開館期間中の管理人費	活動	① 展示品及び関係資料の整理	回	36		13	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1:現状のまま継続	【効果】 ・専門家に鉱石整理を依頼したことにより、所蔵品の整理が進んだ。 【課題】 ・以前展示していた民具、鉱石類の整理。 【次年度に向けた改善点】 ・収納庫に保存してあるもので、展示できるものは展示室の整理状況に応じ展示していく。
				活動	② 企画展の開催	回	1		0				
				活動	③								
				成果	① 鉱物研究会に鉱石類の整理	回	1.0		10.0				
				成果	② 鉱山関係書類燻蒸作業の実施	回	1.0		1.0				
				成果	③								
				対象	① 鉱物研究会 (資料整理委託)	千円	0		294				
対象	② 県立博物館 (燻蒸作業委託)	千円	31.3		33.4								
財源	国	千円											
財源	県	千円											
財源	起債	千円											
財源	その他	千円											
財源	一般	千円	1,169	1,035									
事業費合計	千円	1,169		1,035									

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）	
											総合判定	総合的な分析
28	1715美術館維持管理費	美術館は、本町出身の故川村勇画伯から寄贈を受け昭和60年10月27日に開館、川村氏が30年間描き続けた作品が展示されている。53年の日展入選作品「市場にて」54年の「配給日」などの代表作を始め、40点を展示している。デッサン館にはデッサンを中心にコレクションや画具が展示され、素描90数点が展示されている。	4月から11月までの開館期間中の管理人費	活動	① 来館者数の増	回	308	316	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・29年度に開催した企画展の効果により300人以上の来館者数を維持できた。 【課題】 ・新たなファンの拡大。 【次年度に向けた改善点】 ・展示内容等の美術館情報をHP等に掲載する。
				活動	②	回						
				活動	③							
				成果	① 来館者数							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
対象	②											
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	716	990								
事業費合計	千円	716	716	990								
29	文化創造館総務費	文化創造館の運営における総務的経常経費。	主な経費 ・文化創造館運営委員報酬・費用弁償 ・文化振興推進員報酬（嘱託職員） ・嘱託職員に係る共済費 ・文化創造館通信費 ・公立文化施設協議会負担金	活動	① アートコーディネータ、文化振興推進員	人	2	1	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	アートコーディネータ、文化振興推進員を配置し、文化創造館の適切な運営を行うことができた。 【効果】 ・文化振興推進員により貸館事業の対応を行った 【課題】 ・アートコーディネータの終了により今後の施設運営の方針が必要 【今後の方針・方向性】 ・今後の銀河ホールでの在り方についての検討を行う
				活動	② 音響照明等作業委託	千円	225	214				
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
対象	②											
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	6,411	3,275								
事業費合計	千円	6,411	6,411	3,275								
30	文化創造館維持管理費	文化創造館の維持管理における経常経費。	主な経費 ・文化創造館修繕費、燃料・光熱水費 ・文化創造館施設・舞台・音響照明保守委託料、管理・清掃委託料 ・車両借上料 ・備品購入費【除雪機更新(中古)】	活動	①				◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 - 【課題】 ・施設維持に当たっては長寿命化を念頭に維持管理計画の作成が必要である。 【次年度に向けた改善点】 ・各種保守業者に対し、優先順位を付しての保守計画作成を依頼する。
				活動	②							
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
対象	②											
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	17,298	18,036								
事業費合計	千円	17,298	17,298	18,036								

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度				
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）		評価（事後評価）			
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等		
31	地域演劇祭開催事業	第8回国民文化祭いわて'93「民話劇と語りの芸能」の成功を継承し、各地で活動している地域演劇団体を招き、演劇祭を開催する。毎年継続的に開催することで銀河ホールが地域演劇の情報発信基地となり、演劇の町としての地位を高め、地域づくりの一翼を担うものである。	12月14日・15日の2日間にわたり演劇祭を開催した。プレ公演「子守歌コンサート」を皮切りに6団体の作品上演を行った。 ○出演団体・作品 ①井上麻矢（劇団こまつ座）／東京『母と暮らせば』 ②演劇ユニットF u f／北海道『眠っちゃいけない子守唄』 ③劇団タナカナオキとその仲間たち／西和賀町『注文の多い―セロ弾きのゴーシュ』 ④劇団菜の花座／山形『流れ旅 真っ赤な夕日の女たちの昭和・漂う』 ⑤北芸の会／北上市『影絵 花さき山／モチモチの木』 ⑥劇団ぶどう座／西和賀町『穂孕み／お婆さんと酒と役人と』	活動	① 12月14日（土）～15日（日）											
				成果	① 入場者数	人	360	277								
				対象	①											
				財源	国	千円										
					県	千円										
					起債	千円										
					その他	千円										
事業費合計	千円	2,630		2,030												
32	青少年劇場開催事業	優れた舞台芸術を児童生徒に鑑賞させることにより、青少年の豊かな情操を養い、健全育成に資することを目的とする。	語り芝居「美しいことば 美しいひびき」公演。 語り芝居に加え劇中に使用される楽器に興味を示す児童が多かった。ワークショップの時間においては、舞台上で表現するクラスメイトの表情や声などに館内では笑いも起こり、終始リラックスした様子で観劇を楽しんでいた。	活動	① 公演回数	回	1	1	1							
				成果	① 鑑賞者数	人	178.0	162.0								
				対象	① 町内小学校全児童											
				財源	国	千円										
					県	千円										
					起債	千円										
					その他	千円										
事業費合計	千円	292		292												
33	地域住民による文化創造発信事業	銀河ホールを活動拠点とし、地域住民が自ら創作を行う事業であり、町民が主体的に参加できる事業を実施することにより、文化創造館を「行政の一部」「役場の一部」から、町民が「自分自身の居場所」として感じられるような場所へと変容させることを目的とする。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により公演の自粛・中止を余儀なくされるに至った。よって、この3年間で4公演を行った実績と、今回上演が叶わなかった『ノスタルジアリズム』の公演準備資料、部員の思いを綴った作文を掲載した記録集を作成・発行した。	活動	① 講演発表 3月14～15日		1	0								
				成果	①											
				対象	①											
				財源	国	千円										
					県	千円										
					起債	千円										
					その他	千円										
事業費合計	千円	450		338												

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2: 見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3: 縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4: 統廃合
— 取り組む必要が無かった	— 効果は不明	5: 廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)	
											総合判定	総合的な分析
34	中学生演劇講座事業	町内の中学校生徒を対象に、学校での授業の一環として専門家からの本格的な演劇指導を行い、豊かな感受性や想像力を養う。	町内に2校ある中学校生徒を対象に、演劇の専門家を講師とした演劇づくり講座を開催する。10月下旬の両校文化祭で成果発表の上演を行う。	活動	① 湯田中学校 全学年				◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続	【効果】 ・本格的な演劇の創作を通して、生徒一人ひとりが、演者や裏方というそれぞれの立場において、一つのことを協力して作り上げる喜びや達成感を味わう機会を創出している。 【課題】 ・学校と講師の良好な関係性の維持 【次年度に向けた改善点】 ・担当課は学校と講師の意思疎通において十分な連絡調整を行う。
				活動	② 沢内中学校 3年生							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	① 湯田中学校 全学年							
				対象	② 沢内中学校 3年生							
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	870									
事業費合計					千円	870		941				
35	銀河ホール学生演劇合宿事業	全国各地で活動を行っている大学等の演劇部、演劇サークル・団体や演劇関係者が西和賀町に集い、一定期間町内の温泉旅館に宿泊しながら演劇専用の銀河ホールで演劇の稽古を重ね、最後に作品の上演発表を行い、このことを通じて、地域固有の資源である「温泉」と「銀河ホール」を活用した地域振興と交流人口の拡大を図るとともに、全国に先駆けた学生演劇の拠点化を目指し、「演劇の町」をアピールしようとするもの。	①夏季合宿「toct_detect」 8月12日(月)～8月17日(土) [参加者数] 29名 (宿泊数 127泊)	活動	①			○ 目標達成率50%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続	【効果】 ・ラジオドラマ制作で町民と学生が交流する場を企画に盛り込み、これまで以上に町民と学生との交流を図ることが出来た。 【課題】 ・町民への事業内容の浸透が途上にある。 【次年度に向けた改善点】 ・事務局体制を一新し、独自の且つ自由度の高い事業実施を目指す。	
			②雪の演劇祭2020(冬季演劇合宿) 2月17日(月)～3月2日(月) [参加者数] 28名 (宿泊数 256泊)	活動	②							
			③湯田温泉峡風呂美術大学2020(美術合宿) 2月17日(月)～3月2日(月) [参加者数] 3名 (宿泊数 42泊) [WS参加者数] 28名	活動	③							
			④はるばるAIR 2020(アーティスト滞在制作誘致) 2月20日(木)～2月27日(木) [参加者数] 5名 (宿泊数 31泊)	活動	④							
			成果	①								
			成果	②								
			成果	③								
対象	①											
対象	②											
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	2,230									
事業費合計					千円	2,230		2,063				
36	地域おこし協力隊招聘事業	演劇事業等に携わる専門性の高い人材を登用し、将来的に銀河ホールが事業の外部委託を目指すに当たっての体制構築を進める。	各事業における実行委員会の企画委員や事務局業務に携わりつつ、事業の制作的業務や経理業務などを通して基本的な会館運営を習得する。	活動	①			-	-	1: 現状のまま継続	【効果】 ・一定の効果は得られている。 【課題】 - 【次年度に向けた改善点】 -	
				活動	②							
				活動	③							
				成果	①							
				成果	②							
				成果	③							
				対象	①							
対象	②											
財源	国	千円										
財源	県	千円										
財源	起債	千円										
財源	その他	千円										
財源	一般	千円	5,025									
事業費合計					千円	5,025		3,182				

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度				
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）					
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等		
37	高校演劇大会開催事業	ギンガク実行委員会に事業委託し、全国より高校演劇部を公募し、劇作家の書き下ろし戯曲を共通課題台本として表彰付きの上演発表大会を行うもの。「高校演劇部および部員たちに対する表彰の機会を増やすこと」を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け予定していた実施方法を見送り、当初の開催日程である3月20日（金・祝）～3月22日（日）の3日間でYouTubeを活用した課題戯曲のリーディングと審査員等とのトークセッションを実施した。 参加校 山梨県立上野原高等学校 中央大学附属高等学校（非公開） 岩手県立盛岡第一高等学校 岩手県立不来方・盛岡南高等学校（非公開） 東京都立江戸川高等学校 	活動	① 大会 3月22日											
				活動	②											
				活動	③	コロナにより公演中止										
				成果	①											
				成果	②											
				成果	③											
				対象	① 高校演劇団体	団体	5		6	△ 目標達成率25%以上	－ 効果は不明	1：現状のまま継続	【効果】 ・国内においても珍しい試みであり、また参加校には演劇専用劇場において普段の成果を発表する機会の提供すると共に、生徒等が町内旅館に滞在することにより、交流人口の増加に繋がった。 【課題】 － 【次年度に向けた改善点】 －	2：見直して継続	【効果】 ・高校生が劇作家や演出家と交流を深めると共に、同時に演劇の町としての役割を担う。 【課題】 ・町民の参画、事業への理解の浸透をどのように図るか。 【今後の方針・方向性】 ・国内でも珍しい試みであること、出場希望校が年々多くなっていることなどから費用面を再精査し、継続できることが望ましい。	
				財源	国	千円										
				財源	県	千円	1,112		656							
				財源	起債	千円										
財源	その他	千円														
財源	一般	千円	556		328											
		事業費合計	千円	1,668		984										
38	保健体育総務事務費	誰もが気軽にスポーツの取り組みを推進するとともに、スポーツに係わる各種団体の支援、人材の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ団体の活動に支援を行い、各種イベントや研修への参加等を行なう。 町体育協会事業費補助金 県南広域圏スポーツ等連携事業実行委員会負担金 スポーツ推進委員協議会負担金（岩手県、北上地区） 各種大会派遣費補助金（ソフトボール、雪合戦、JOC全日本スキー大会） 	活動	① 体協加盟団体	団体	21		21							
				活動	② 各種大会派遣団体	団体	5		1							
				活動	③											
				成果	① 各団体自主事業の開催	回										
				成果	②											
				成果	③											
				対象	①											
				対象	②											
				財源	国	千円										
				財源	県	千円										
財源	起債	千円														
財源	その他	千円														
財源	一般	千円	3,902		2,400											
		事業費合計	千円	3,902		2,400										
39	生涯スポーツ、学校開放事業	町内の小学校の校庭及び体育館を町民に開放し、学校体育施設の有効活用を努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校校庭及び体育館の町民開放（旧小学校施設も含む） ○小学校屋外運動場夜間照明の町民開放 	活動	① 学校開放年間開放回数	回	683		580							
				活動	②											
				活動	③											
				成果	① 学校開放年間開放回数		683		580							
				成果	②											
				成果	③											
				対象	①											
				対象	②											
				財源	国	千円										
				財源	県	千円										
財源	起債	千円														
財源	その他	千円														
財源	一般	千円	1,063		995											
		事業費合計	千円	1,063		995										

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度			
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）		評価（事後評価）		
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等	
40	クロスカントリースキー大会開催事業	沢内クロスカントリースキー大会及びマスターズ大会を開催し、小中学生の健全な体力の育成と冬季スポーツの振興を図るとともに、町のPRと交流人口の増加を目指す。	○第26回沢内クロスカントリースキー大会及び第20回マスターズ大会を開催し、小中学生等の健全な体力の育成と冬季スポーツの振興を図る。 ・開催日 令和2年2月22～23日	活動	① クロスカントリー部門	人	161	160	159	× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	1：現状のまま継続	【効果】 ・町内から児童・生徒が多く参加している。 【課題】 ・少子化に伴い、年々児童・生徒数が減少しているため、目標人数をキープしていくことは難しい。 【次年度に向けた改善点】 ・大会開催日程の再検討。	1：現状のまま継続	【効果】 ・昨年度は積雪量不足により開催できなかった。 【課題】 ・少子化に伴い、年々児童・生徒数が減少しているため、目標人数をキープしていくことは難しい。 【今後の方針・方向性】 ・新コースで大会を実施し、志賀来スキー場のPRを図る。
				活動	② リレー部門	人	31	30	32						
				活動	③ マスターズ部門	人	31	30	27						
				成果	① クロスカントリー部門	人	161	160	0						
				成果	② リレー部門	人	31	30	0						
				成果	③ マスターズ部門	人	31	30	0						
				対象	①										
対象	②														
財源	国	千円													
	県	千円													
	起債	千円													
	その他	千円													
	一般	千円	383		75										
事業費合計	千円	383		75											
41	沢内マラソンマスターズ大会開催事業	沢内マラソンマスターズ大会を開催し、スポーツを身近なものに感じられる機会をつくり、町民のみならず県内外に広く参加者を募り、西和賀らしい田園風景の中で健脚を競い合い、スポーツ振興を図るとともに、町のPRと交流人口の増加を目指す。	○第23回沢内マラソンマスターズ大会を開催し、スポーツを身近なものに感じられる機会をつくり、町民の健康増進とスポーツの振興、町のPRと交流人口の増 ・開催日 令和元年8月4日（日）	活動	① 申込者数	人	794	600	686	◎ 目標達成率75%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 ・参加者が751名と、過去最多の参加申込みがあった。 ・大会を通じて地域間での交流や、町民のスポーツに対する意識向上に貢献した。 【課題】 ・町民参加が少ない。 ・猛暑に開催するため、リスクの高い大会となっている。 ・駐車場場所の確保、アクセス面が課題。 【次年度に向けた改善点】 ・町民参加者を増やす ・参加者数を600名限定	5：廃止	【効果】 ・参加者638名の参加申込みがあった。 ・大会を通じて地域間での交流や、町民のスポーツに対する意識向上に貢献した。 【課題】 ・町内の参加者が少ないこと、町や人的に負担が大きい事業であることなど理由に、事業の必要性を見直し、実行委員会や意見交換会を重ね、事業廃止を決定した。 【今後の方針・方向性】 ・令和2年度事業廃止
				活動	②										
				活動	③										
				成果	① 参加者数	人	751	600	638						
				成果	②										
				成果	③										
				対象	①										
対象	②														
財源	国	千円													
	県	千円													
	起債	千円													
	その他	千円													
	一般	千円	1,615		1,100										
事業費合計	千円	1,615		1,100											
42	漕艇競技事業	高総体ボート競技大会を開催することでボート競技の振興が図られ、延いて、町の観光振興の活性化に繋がります。	○ボートコースの設置及び高校総合体育大会の運営協力 ・ボートコース設置調整作業業務委託	活動	① 高校総体大会支援	人	386		340	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続	【効果】 ・高校総体開催の支援を行ない円滑な大会開催が行えた。また、西和賀高校の魅力化支援に寄与している。 【課題】 ・県全体の競技者数の減少 【次年度に向けた改善点】 ・高校総体事務局との連携を密にしより円滑な開催運営を行なう。 ・企業局、ダム管理所と協議し大会時の水位の維持確保を行なう。	1：現状のまま継続	【効果】 ・高校総体開催の支援を行ない円滑な大会開催が行えた。また、西和賀高校の魅力化支援に寄与している。 【課題】 ・県全体の競技者数の減少。 【今後の方針・方向性】 ・高校総体事務局との連携を密にしより円滑な開催運営を行なう。
				活動	②										
				活動	③										
				成果	① 高校総体大会支援	人	386		340						
				成果	②										
				成果	③										
				対象	①										
対象	②														
財源	国	千円													
	県	千円													
	起債	千円													
	その他	千円													
	一般	千円	2,276		2,489										
事業費合計	千円	2,276		2,489											

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学 務 課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効 果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1 : 現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2 : 見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3 : 縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4 : 統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5 : 廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成 30 年度	令和元年度		
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)		評価 (事後評価)	
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等
43	川尻体育館維持管理費	川尻体育館をスポーツ振興の他コミュニティーづくりの場として開放。	○当該施設の適切な管理に努め、利用促進を図る。	活動	① 利用者数	人	4,114	2,934	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2 : 見直して継続	【効果】 ・冬期間の利用が主である。 【課題】 ・老朽化のため雨漏りが激しい。 【次年度に向けた改善点】 ・小修繕等で維持しながら継続利用したい。	2 : 見直して継続	【効果】 ・冬期間の利用が主である。 【課題】 ・老朽化のため雨漏りが激しく使用が危険な状態にある。 【今後の方針・方向性】 ・令和2年度から使用中止。 ・令和2年度から管理人を委嘱しない。
				成果	① 利用者数	人	4,114	2,934						
				対象	①									
				財源	国	千円								
					県	千円								
					起債	千円								
					その他	千円								
事業費合計	千円	2,008	1,351											
44	湯川体育館維持管理費	湯川体育館をスポーツ振興の他コミュニティーづくりの場として開放。	○当該施設の適切な管理に努め、利用促進を図る。	活動	① 利用者数	人	9,711	6,493	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1 : 現状のまま継続	【効果】 ・川尻体育館利用者が当該施設利用へ変動したため利用者の大幅増となった。 【課題】 ・冬期間の駐車場確保 【次年度に向けた改善点】 ・建設課と協議し駐車場確保に努める。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。	1 : 現状のまま継続	【効果】 ・川尻体育館利用者が当該施設利用へ変動したため利用者の大幅増となった。 【課題】 ・冬期間の駐車場確保 ・令和2年度から管理人を委嘱しないため、清掃や除雪作業の負担が増える。 【今後の方針・方向性】 ・建設課と協議し駐車場確保に努める。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。
				成果	① 利用者数	人	9,711	6,493						
				対象	①									
				財源	国	千円								
					県	千円								
					起債	千円								
					その他	千円								
事業費合計	千円	2,046	1,683											
45	プール維持管理費	屋内温泉プール ・指定管理 (西和賀町水泳協会) 太田プール ・夏季の町民への開放 ・沢内中学校の体育授業	○町営プールは、太田プールにおいては、夏場の活用を重点にし、屋内温泉プールでは、屋内のメリットを活かし、通年活用とし、町内はもとより、合宿、大会等を誘致し、広く利活用を図る。	活動	① 利用者数(太田プール)	人	989	679	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1 : 現状のまま継続	【効果】 ・指定管理受託者が自主事業を積極的に行ない利用者増へ繋がった。 【課題】 ・大規模改修工事は終了したが、修繕工事の継続は必要。 ・太田プールにおいては、塗装が剥離していることから、利用者の裂傷等が危惧される。 【次年度に向けた改善点】 ・自主事業の啓発を積極的に行なうよう指導を行なう。	1 : 現状のまま継続	【効果】 ・指定管理受託者が自主事業を積極的に行ない利用者増へ繋がった。 【課題】 ・大規模改修工事は終了したが、修繕工事の継続は必要。 ・太田プールにおいては、塗装が剥離していることから、利用者の裂傷等が危惧される。 【今後の方針・方向性】 ・自主事業の啓発を積極的に行なうよう指導を行なう。
				成果	② 利用者数(温泉プール)	人	9,517	9,697						
				対象	① 利用者数(太田プール)	人	989	679						
				財源	② 利用者数(温泉プール)	人	9,517	9,697						
					国	千円								
					県	千円								
					起債	千円								
事業費合計	千円	21,028	28,425											

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学 務 課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効 果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1: 現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2: 見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3: 縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4: 統廃合
- 取り組む必要が無かった	- 効果は不明	5: 廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成 30 年度	令和元年度		
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)		評価 (事後評価)	
											総合判定	総合的な分析	総合判定	進捗状況の分析と今後の方針等
46	湯田農業者トレーニングセンター維持管理費	湯田農業者トレーニングセンターをスポーツ振興の他コミュニティづくりの場として開放。	○当該施設について、適切な管理に努め、施設の利用促進を図る。	活動	① 利用者数	人	4,908	5,701	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1: 現状のまま継続	【効果】 ・利用団体は減少したものの、個人利用は前年並みである。 【課題】 ・玄関フロア天井の雨漏りが激しく早期に改善が必要とされる。 【次年度に向けた改善点】 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。 ・総合計画で雨漏り修繕を検討しているが、前倒しが必要である。	1: 現状のまま継続	【効果】 ・利用団体、個人利用者数は前年並みである。 【課題】 ・玄関フロア天井の雨漏りが激しく早期に改善が必要とされる。 【今後の方針・方向性】 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。 ・総合計画で雨漏り修繕を検討しているが、前倒しが必要である。
				成果	① 利用者数	人	4,908	5,701						
				対象	①									
				財源	国	千円								
				県	千円									
				起債	千円									
				その他	千円									
事業費合計	千円	2,799	2,893											
47	沢内農業者トレーニングセンター維持管理費	沢内農業者トレーニングセンターをスポーツ振興の他コミュニティづくりの場として開放。	○当該施設について、適切な管理に努め、施設の利用促進を図る。	活動	① 利用者数	人	5,991	5,004	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1: 現状のまま継続	【効果】 ・床研磨工事、トイレ様式化を行ない利用者のニーズに応えた。 ・修繕工事のため長期休館したが、利用者状況は前年並みである。 【課題】 ・利用団体が固定され、他団体が利用しにくい状況にあるため改善が必要とされる。 【次年度に向けた改善点】 ・利用者打合会を開催。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。	1: 現状のまま継続	【効果】 ・利用者数は減少したものの、日常的に使用されている。 【課題】 ・スポーツ少年団の活動制限を機に、空き時間が生まれた。施設の課題は屋根防水シートの修繕が必要となっている。 【今後の方針・方向性】 ・必要に応じて利用者打合会を開催。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。
				成果	① 利用者数	人	5,991	5,004						
				対象	①									
				財源	国	千円								
				県	千円									
				起債	千円									
				その他	千円									
事業費合計	千円	8,504	4,094											
48	湯田スキー場維持管理費	湯田スキー場を冬期間のスポーツ振興の場として開放。索道事業における鉄道事業法の遵守。	○町営湯田スキー場の適切な管理を行い、冬期間におけるスポーツ振興を図る。 索道事業については、鉄道事故等の多発から、安全対策を強く指導されていることから、運行に当たっての施設面の安全管理に重点を置く。	活動	① 輸送者数	人	10,744	410	× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	2: 見直して継続	【効果】 ・スキーヤー減だが、競技スキー練習場として活用 【課題】 ・従事員の確保 ・輸送者数、利用者数の変動が大きい ・索道事業法に基づき施設改修が必要。 【次年度に向けた改善点】 ・従事員の早期募集。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。	2: 見直して継続	【効果】 ・スキーヤー減だが、競技スキー練習場として活用。 【課題】 ・従事員の確保 ・輸送者数、利用者数の変動が大きい ・索道事業法に基づき施設改修が必要。 【今後の方針・方向性】 ・従事員の早期募集。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める
				成果	① 輸送者数	人	10,744	410						
				対象	①									
				財源	国	千円								
				県	千円									
				起債	千円									
				その他	千円									
事業費合計	千円	9,286	7,390											

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学務課】

【生涯学習課】

達成度 (目標値に対して)	効果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1:現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2:見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3:縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4:統廃合
- 取り組む必要が無かった	- 効果は不明	5:廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単位	30年度実績	R01年度		評価		平成30年度	令和元年度
							目標	実績	達成度	効果	評価 (事後評価)	
											総合判定	総合的な分析
49	志賀来スキー場維持管理費	志賀来スキー場を冬期間のスポーツ振興の場として開放。 クロスカントリースキーコース整備検討。	○志賀来スキー場維持管理費用 (索道関係施設・志賀来スキー場・志賀来ロッジ・志賀来クロスカントリースキーコース・志賀来キャンプ場)	活動	① 利用者数(アルペン)	人	3,320	601	△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	2:見直して継続	【効果】 ・町外からのクロスカントリースキー来場者が増加 【課題】 ・従事員の確保 ・利用者数の変動が大きい ・圧雪車の更新 ・志賀来スキー場活用検討会での今後の計画 【次年度に向けた改善点】 ・従事員の早期募集。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所早期発見に努める。 ・新コースの検討
				成果	② 利用者数(クロカン)	人	1,906	755				
				対象	③							
				財源	国	千円						
					県	千円						
					起債	千円						
					その他	千円						
事業費合計	千円	10,535	4,094									
50	志賀来ドーム維持管理費	志賀来ドームをスポーツ振興の他コミュニティづくりの場として開放。	○志賀来ドーム管理の他、志賀来周辺施設管理 (これまで志賀来スキー場事業) も含め指定管理者へ委託する。また、消防設備の保守点検、浄化槽維持管理業務の委託、需用費、日常小修繕も含め委託料として計上。 ・志賀来ドームはバリアフリーの設備が整備されていることから、設置された自動ドア装置を修繕することで円滑な運営を図る。 ・志賀来ドーム照明ランプについて複数個交換が必要なことから修繕し、施設における機能性の充実を図る。	活動	① 利用者数	人	9,608	8,670	◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1:現状のまま継続	【効果】 ・ゲートボール、グラウンドゴルフ利用者が多いが、近年、合宿での利用が増加している。 【課題】 ・高齢者が多く利用するため、トイレ洋式化が急務である。 【次年度に向けた改善点】 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所早期発見に努めるよう指定管理受託者に指導する。
				成果	② 利用者数	人	9,608	8,670				
				対象	③							
				財源	国	千円						
					県	千円						
					起債	千円						
					その他	千円						
事業費合計	千円	6,917	5,758									
51	錦秋湖グラウンド維持管理費	錦秋湖グラウンドの施設管理及び芝生管理を適正に行ない利用へ開放。	○町内の野球関係者の利用とともに、県境に位置する球場として、町外利用者の受け入れにも積極的に対応し、利用価値の向上を図る。	活動	① 利用者数	人	1,624	1,295	○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	1:現状のまま継続	【効果】 ・ネーミングライツの対価を得ることにより、自主財源確保ができた。 【課題】 ・春季利用希望があるが、錦秋湖マラソン、操法大会等で施設利用出来ない状況 ・電光掲示板が利用不可 【次年度に向けた改善点】 ・他課と連携し利用の可能性を探る。 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所早期発見に努める。
				成果	② 利用者数	人	1,624	1,295				
				対象	③							
				財源	国	千円						
					県	千円						
					起債	千円						
					その他	千円						
事業費合計	千円	5,506	4,801									

令和元年度 事務事業評価 総括表

【学 務 課】

【生涯学習課】

達成度（目標値に対して）	効 果	総合判定
◎ 目標達成率75%以上	◎ 十分な効果あり	1：現状のまま継続
○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続
△ 目標達成率25%以上	△ 効果が少ない	3：縮小して継続
× 目標達成率 0%以上	× 効果はない	4：統廃合
－ 取り組む必要が無かった	－ 効果は不明	5：廃止

No	事務事業名	事務事業の目的	事業の概要	指標・事業費と財源	単 位	30年度 実績	R01年度		評価		平成 30 年度	令和元年度
							目標	実績	達成度	効果	評価（事後評価）	
											総合判定	総合的な分析
52	沢内総合公園多目的広場維持管理費	沢内総合公園多目的広場の管理を適正に行ない利用者へ開放。	○沢内総合公園の適正な管理に努め、施設の利用促進を図る。	活動	① 利用者数	人	679		○ 目標達成率50%以上	○ ある程度の効果あり	2：見直して継続	【効果】 ・主に中学校の野球練習開場使用されている。 【課題】 ・施設全体の老朽化 ・硬式野球が行えないため利用者が限定されている。 【次年度に向けた改善点】 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所の早期発見に努める。
					②							
					③							
				成果	① 利用者数	人	679	512				
					②							
					③							
				対象	①							
					②							
				財源	国	千円						
					県	千円						
起債	千円											
その他	千円											
一般	千円	1,858	1,601									
	事業費合計	千円	1,858	1,601								